

活動実施計画書

団体名： 有松まちづくりの会

1 組織の現況、課題

1973 年に設立された有松まちづくりの会は、江戸時代から続く美しい町並みを保存するため国の重要伝統的建造物群保存地区選定を目指して活動してきました。2016 年に当初の目的を達成し、2019 年には伝統的地場産業の絞り産業や、その繁栄がもたらした絞り商家の町並み、からくり人形を載せた豪華な山車のまつり等、有松独自の文化を繋いで来た町のストーリーが評価され、有松のまちは日本遺産にも認定されました。しかし、基幹産業の絞り産業は低調で、また有松の知名度の低さから観光で訪れる人も多くはありません。そこで、将来にわたってまちの活性化に向けて、まちの環境整備(路上禁煙の導入や公衆トイレの設置等)を始め具体的な活動を模索しています。

2 助成を受けようとする活動の目的

有松の知名度向上と、早春のまちを活性化するために取り組んでいる「福よせ雛」事業であるが、本来の、雛人形の再生事業である趣旨が来町者に理解されていない節がある。そこで、きちんと理解していただけるような表示パネルを作成し(外国人の観光客も増えているので英字のものも作成)再生した福よせ雛と共に掲示し、多くの方に有松の春を楽しんでいただく。

近隣の大学生に雛の製作を協力、SNS で発信してもらい、福よせ雛事業と有松の知名度向上につなげる。

近隣の幼稚園、保育園などへ塗り絵で事業に参加して頂き、保護者や関係者の方々に来町を促す。

また雛繫がりや、幼児や若い世代へ尾張地域での桃の節句菓子「おこしもん」を紹介し、伝統菓子の継承を図る。

有松の町並みガイド・有松あないびとの会に、福よせ雛に重点を置いた町並みツアーを依頼し、希望される方に、東海道や小路を解説付きで歩きながら有松の春を楽しんでいただく。

3 活動による今年度の成果目標

パネルを各所に掲示し、福よせ雛の趣旨を理解しながら、町並み散策を楽しんでいただく。また、有松を身近に感じ、福よせ雛のイベントに参加していただけるよう、各家庭からの雛の引き受けなどについての広報も行う。

希望者には有松の町並み案内グループ「有松あないびとの会」による「福よせ雛めぐり町並みツアー」を実施し、東海道だけでなく小路の存在もアピールする。

「おこしもんって何？」講座を開催し、その歴史や背景、具体的な作り方、有松の旧家に残る型の紹介などをして、参加者に実際に食してもらい、伝統菓子に興味をもってもらう。

4 助成を受けようとする今年度の活動内容

福よせ雛の趣旨を分かりやすく紹介したパネルの作成。
来町者に分かりやすく、散策を楽しんでいただけるチラシの作成。
福よせ雛本部や他の参加団体との活動連携。
桜花学園大学、至学館大学の授業に赴き、福よせ雛、川柳の作成指導。
近隣幼稚園、保育園、こども園の園児たちへの塗り絵参加のお願い。
有松あないびとの会による特別な町並み案内の実施。
地域の伝統節句菓子「おこしもん」の広報、伝承。
各家庭からの雛の引き受け広報ポスターの掲示。
有松の小路へのいざないを目指し、新たに小路にも雛や塗り絵を展示する。

5 今年度の活動実施の際に協力や調整等が必要となる関係者等

有松鳴海校会館を始め、福よせ雛を設置、掲示する町家の方々。
協賛していただく店舗。
有松幼稚園を始め、福よせ塗り絵に取り組んでいただく近隣の幼稚園、保育園、こども園。
福よせ雛を作成してくださる桜花学園大学、至学館大学の方々。
とても凝った福よせ雛を製作展示してくださる有松手芸部の皆さん。
おとな川柳を寄稿してくださる愛好者の皆さん等。
有松の町並みを福よせ雛を中心に案内していただく有松あないびとの会。

6 今年度の活動内容のスケジュール

月	活動内容	詳細
4	雛の設置台作成	ステージとなる雛台の下準備
5	桜花学園大学雛製作 資材調達	5月26日実施。大学生のつぶやきを川柳依頼 形リメイク資材、展示資材調達等
6	資材調達 桜花学園大学雛製作	予算に計上した内容の資材確保 7月22日予定。
7		
8		
9	イベント内容の精査 検討など	開催期間、イベント内容の決定
10	事前準備	協力先との内容確認 パネル作成依頼 キーホルダー作成依頼 ステージとなる雛台の下準備

※ この様式は公開されます。

11	資材調達 至学館大学雛製作	人形リメイク資材、展示資材調達等 11月25日予定。大学生のつぶやき川柳作成依頼
12	塗り絵など依頼	幼稚園、保育園などへ依頼、塗り絵の手配
1	人形リメイク等 協賛金のお願いなど 有松小トワイライト での講座	人形リメイク、塗り絵や雛以外の展示物作成 店舗へ依頼 1月15日予定。一部雛展示
2	展示作業 「春のありまつさん ぼ道 福よせ雛と町 歩き」開始 特別町並みツアー実 施 「おこしもんって 何？」講座	パネル、雛、塗り絵とも順次展示 2月21日～3月22日を予定 2月21日(11時～、13時～)、22日(11時～、13時～) 2月23日予定
3	展示点検、撤収	期間中継続的に展示の様子を確認、修正 終了後の撤収

7 活動後、次年度以降の展望

有松まちづくりの会の事業として、「春のありまつさんぼ道 福よせ雛と町歩き」は今後も毎年継続しての開催を予定しています。撤収後は可能な限り早期に台の補修をし、次年度も同様に多くの方々に参加していただけるように備えます。

「福よせ雛」事業の趣旨の理解は一気には進まないと思われるので、パネルを継続して掲示し、正しく理解していただいた上で、参加いただける方を増やす等、来町者の皆さんに故郷意識を持っていただき、一層、有松の春を楽しんでいただけるよう努めます。

また、おこしもん講座をすることで幅広い世代へ有松に足を運んでいただくきっかけとしてもらい、地域の文化の継承に取り組んで行きたいと思えます。

特別な町並みツアーの企画も継続して実施し、小路の紹介など更なる有松の魅力を多くの方々に発信し、有松のまちの活性化に繋がりたいと思っています。

※ 各欄のサイズ変更は可能ですが、3ページを超えないように作成してください。

※ 用紙の大きさは日本産業規格 A4 とする。

※ この様式は公開されます。